

No.149
県議会
とちぎ

〒320-8501 宇都宮市埴田 1-1-20
 TEL 028-623-3772
 FAX 028-623-3755
 E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
 HPアドレス <https://www.pref.tochigi.lg.jp/kengikai/>

第391回通常会議(令和5年2月20日～3月15日)

総額9,786億円の令和5年度一般会計予算等を可決

第391回通常会議は、知事から栃木県一般会計予算など65件の議案の提出及び1件の報告があり、審議に当たり質疑・質問や委員会審査、予算特別委員会における総括質疑が行われました。また、議員からは栃木県ケアラー支援条例の制定など7件の議案が提出され、全て原案のとおり可決されました。

令和5年度予算においては、栃木県誕生150年及びG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の開催を契機とした郷土愛醸成や本県の魅力発信をはじめ、「令和5年度政策経営基本方針」の重点事項であるいちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の

レガシー等の未来への継承や若者、女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくり、新型コロナウイルス感染症の克服とポストコロナにおける本県産業の競争力強化、デジタルトランスフォーメーションやカーボンニュートラルの実現に向けた取組の推進のほか、「とちぎ未来創造プラン」や「とちぎ創生15戦略(第2期)」の着実な推進を図るための事業などが盛り込まれました。

令和4年度補正予算においては、国の「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」に呼応し、本県産業の競争力強化に取り組みとともに、社会福祉施設の防災力強化のための施設整備等を支援する事業などが盛り込まれました。

- ### 可決された主な議案
- 令和5年度栃木県一般会計予算
 - 令和4年度栃木県一般会計補正予算(第10号)
 - 栃木県カーボンニュートラル実現条例の制定について
 - いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会レガシー基金条例の制定について
 - 栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正について
 - 栃木県手数料条例の一部改正について
 - 栃木県林業センター設置、管理及び使用料条例の一部改正について
 - 栃木県立自然公園条例の一部改正について
 - 栃木県ケアラー支援条例の制定について

- ### 可決された意見書
- 新型コロナウイルス感染症の5類感染症への変更に関する意見書
 - 子ども政策の充実・強化を求める意見書
 - 原油価格・物価高騰等に対する支援の更なる拡充を求める意見書
 - 中小企業・小規模事業者の人材確保・育成と賃上げに向けた支援を求める意見書
 - エネルギー安全保障の強化を求める意見書



2月20日に開催された県議会議事堂ホールコンサートの様子

とちまるくんのなるほど! 県議会 ～議員提案による政策条例について～



議員提案による政策条例は、県民生活に関する政策課題への迅速な対応を図るため、議員が主体となって提案し制定する条例です。条例案策定に当たっては、議員による検討会を設置し、学識経験者等からの意見聴取や執行機関との協議を行うほか、広く県民の意見を求めるためパブリック・コメントを実施しており、栃木県議会では平成16年度から現在までに9つの政策条例を制定しています。今回は、第391回通常会議に提出され可決・成立した「**栃木県ケアラー支援条例(令和5年4月1日施行)**」について紹介します。

- 【条例制定の背景】 ケアラーに対する社会的認知度や支援策は十分とはいいがたく、ケアラー支援は大きな社会課題となっている。特に、子どもがケアラーになった場合は、日常的なケアの負担により学業や心身の発達にも影響を及ぼす場合もあるなど、様々な懸念が指摘されている。
- 【条例の目的】 全てのケアラーが個人として尊重され、社会から孤立することなく、安心して生活することができる地域社会の実現。



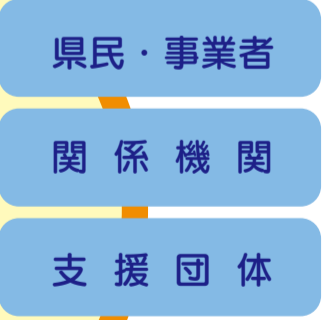
▲ 本会議における条例案の趣旨説明の様子

ケアラーとは

高齢、障害、疾病等の理由により援助を必要とする家族や身近な人などに対し無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する人たちのことです。ヤングケアラーとは、ケアラーのうち18歳未満の者をいいます。



ケアラーの状況等を理解し、**県、市町村、県民、事業者、関係機関、支援団体**等が相互に連携を図りながら、社会全体でケアラーを支えていく必要があります。



県 基本計画を定め、ケアラー支援に関する施策を総合的に策定・実施

※関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮

～基本的な施策～

- 普及啓発
- 人材の育成及び確保
- 学校等への助言等
- ケアラーの早期発見等
- 事業者等が行う活動への支援
- 推進体制の整備

福祉、医療、雇用、教育、その他

「**栃木県ケアラー支援条例**」を含むこれまでの議員提案による政策条例は、こちらからご覧いただけます。





第391回通常会議 本会議の主な質問項目及び内容



代表質問 (2/22)

きむら よしゆみ
木村 好文

(とちぎ自民党)
[足利市]



○第5期福田富一県政の折り返しに当たって

問 知事は、昨年12月で5期目の任期を折り返したところであり、後半は、人口減少問題など、本県の今後50年、100年に関わる課題に対し、これまで以上に強力なリーダーシップを発揮して取り組む必要があると考えるが、未来へとつなぐ活力に満ちたとちぎづくりにどのように取り組んでいくのか。

答【知事】人口減少問題など、依然として喫緊かつ重要な課題が山積しているが、新年度からは、若者、女性に選ばれる“魅力あるとちぎ”づくりに重点的に取り組むなど、今後とも、自らが先頭に立ち、県民、市町、団体、企業等と連携・協働しながら、未来に

輝く新しいとちぎづくりに全力で挑戦していく。

○若者に選ばれるとちぎ～産業振興～

問 産業の振興には、その基盤となる「人づくり」が不可欠であり、本県の恵まれた立地を生かし、本県内外から若者がとちぎに集まり、学び、全国、世界で活躍する人材を数多く輩出する「なりたいたい自分になれるとちぎ」を目指していくべきと考えるが、知事の人づくりへの意気込みを伺う。

答【知事】「人づくり」が県政の基本であるとの信念のもと、若者が優れた技術・技能を本県で身につけられるよう、「とちぎ職業人材カレッジ」(仮称)を新年度夏に開設し、ニーズに沿った的確な支援を展開することで、「人づくり」の分野においても「選ばれるとちぎ」となるよう、全力で取り組む。

このほか 令和5年度当初予算、栃木県誕生150年記念事業の展開など



代表質問 (2/22)

かとう しょういち
加藤 正一

(民主市民)
[足利市]



○物価高騰対策

問 県では、家計の負担軽減や生活困窮者、中小企業、農業者等への支援など、これまでの物価高騰対策の進捗状況と効果をどう受け止めているのか。また、新年度以降も対策を講じていくべきと考えるがどうか。

答【知事】資金繰り支援による中小企業等の経営の下支え、肥料等の価格高騰の影響を受けている農業者等への支援による事業活動の継続、生活困窮世帯への支援金や学校給食の食材費やLPガス料金に関する対策等を通じた家計負担の軽減等、一定の成果を上げていると認識している。引き続き、国の動きや県内の社会経済状況を見極め適切かつ機動的な対応に努める。

○今後の新型コロナウイルス感染症対策

問 5類感染症への変更後も必要な対策等について、これまで講じてきた政策を評価・分析した上で県の方針を決定し、県民に対し丁寧に示していくべきである。評価・分析を踏まえた今後の取組方針と県民の理解促進について伺う。

答【知事】構築してきた保健・医療提供体制や各種取組等を生かしつつ、県民が身近な地域で必要な医療が受けられる体制の構築等に取り組む。また、国や市町とも連携して位置付け変更の考え方や内容、県の対策等について県民等への丁寧な説明や情報提供に努め、感染状況の変化等に迅速に対応しつつ、5類感染症への変更に向けた必要な対策を的確に講じる。

このほか 児童生徒の多様性・特性を踏まえた教育環境の充実、地域防犯活動の取組など



代表質問 (2/22)

やまぐち つねお
山口 恒夫

(公明党)
[宇都宮市・上三川町]



○子育て支援策

問 県は令和5年度から子ども医療費助成制度の対象年齢を中学校3年生に引き上げることとしたが、昭和47年に0歳児を対象として本制度を全国で初めて創設した本県は、子育て支援の模範とならなくてはならないと考える。子ども医療費助成制度をはじめとする子育て支援策に、どのような信念を持って取り組むのか。

答【知事】子どもは未来を担う社会の宝であり、子育て支援の充実は、いわば未来への投資である。一人ひとりがかけがえのない存在である子どもたちを、社会全体で育てていくことができる地域社会の実現に向け、全力で取り組む。

○賃上げの促進

問 県は様々な業種への物価高騰の影響を最小限とするための対策や、LPガス料金の値上がりに対する負担軽減を実施しているが、根本的対応としては物価上昇率を上回る賃上げが重要であり、県内企業の約9割を占める中小企業の賃上げが鍵となる。県内中小企業の賃上げ促進に向けて、どのように取り組むのか。

答【知事】中小企業が賃上げできる環境を整えるため、労働局等と連携し国の支援策の活用を働きかけるほか、生産性向上による継続的な賃上げを図るため、企業の経営改善を支援している。今後、様々な課題に対応するため、公労使による新たな宣言を行い、会議を立ち上げ協議して参りたい。引き続き、関係機関と連携し、賃上げ促進に取り組む。

このほか いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会のレガシーの継承、コロナ禍からの収束への取組など



代表質問 (2/22)

いちき ひろし
一木 弘司

(県民)
[真岡市]



○学校教育における諸問題解決の一方策

問 学校教育における不登校やいじめなどの諸問題を解決するには、教職員の増員が有効であると考えており、その一方策として、小中学校各学級への副担任制の導入を提案したい。小中学校全学年への35人以下学級を導入した知事に、副担任制の導入においても第一歩を踏み出してもらいたいと考えるが、所見を伺う。

答【知事】小中学校全学級への副担任の配置については、頻発する問題への丁寧な対応や教員の業務負担軽減に効果が期待できるが、実現には大幅な教員の増員が必要となり、慎重な議論が必要となる。諸課題に対応する

ため、定数改善や加配教員の増員を国に要望していく。

○主要地方道つくば真岡線の整備

問 真岡市水戸部地内の主要地方道つくば真岡線については、急勾配で狭あい、急カーブなどの状況であることから、昨年度、地域住民から真岡土木事務所に整備要望書が提出されたところであり、今後の整備の見通しを伺う。

答【県土整備部長】水戸部地区の約1.3キロメートル区間については、安全で円滑な通行の確保が課題であると認識している。当該区間のうち、地元からの要望が強い県境付近約100メートル区間については、今年度から部分的に幅員を広げる工事に着手したところであり、今後も真岡市と連携し、早期事業化に向けて取り組んでいく。

このほか 令和5年度当初予算編成と財政運営～財源不足解消を含む財政健全化～、県立高校の在り方～次期県立高校再編計画の策定～など



一般質問 (2/27)

わたなべ さちこ
渡辺 幸子

(とちぎ自民党)
[宇都宮市・上三川町]



○令和の時代に合った政策等のアップデート

問 本県誕生から150年と時代が移り変わる中、価値観や政策等も変化してきた。昨年議員派遣されたベトナム・タイの国民の多くが未来に希望を持つ現状と、将来に希望が持てない人が多い日本を比較し、危機感を抱いた。発展し続ける他国の現状に引き合い、令和の時代に合わない政策等をアップデートし、本県が目指す将来像を実現していくことが重要と考えるがどうか。

答【知事】「不易流行」の考え方を念頭に、常に施策の改善を図りながら「とちぎ未来創造プラン」に掲げた各プロジェクトを推進している。訪問したベトナム・タイの状況を肌で感じ、とちぎに活力と豊かさをもたらす取組

を一層進めていく必要があるとの思いを強くした。今後も時代の潮流を的確に捉え、県民一人ひとりが未来に希望を抱くことができるとちぎの実現に向け取り組んでいく。

○県立美術館、図書館、文書館の整備と栃木会館等跡地の利活用

問 県立美術館、図書館、文書館の移転及び県庁周辺整備の計画策定に当たっては、各施設の在り方を踏まえるとともに、まちづくりの観点による将来構想を明確にして進めていくべきと考えるがどうか。

答【知事】基本理念をはじめ、時代の変化を踏まえた機能等の在り方について、まちづくりの観点も含め、幅広く意見を伺い検討を進めていく。また、県庁周辺は、宇都宮市と連携を図りながら、社会情勢の変化も見据えた県都の顔にふさわしい空間の創出に努めていく。

このほか 本県の女性活躍とG7担当大臣会合を契機とした取組、県民目線の施策立案強化とデジタル化の推進など



一般質問 (2/27)

あおき かつあき
青木 克明

(えがお)
[矢板市]



○財政の健全化

問 令和9年度までの各年度において70～80億円台の財源不足が見込まれている。県は、自主財源の充実等に努めるとしているが、具体性に乏しい。コスト意識を高め、一般財源の安定的な確保と歳出削減の取組を進め、強固な財政基盤を確立すべきと考えるがどうか。

答【知事】企業誘致やものづくり産業の競争力強化等により税収増につなげるとともに、県税収入未済額の縮減、ふるさと納税の促進などにより自主財源の充実を努める。また、ネーミングライツの提案募集対象の拡大や県有施設の整備・運営への民間ノウハウ等の活用、ICTの活用によるコスト削減などにより、収支均衡予算の編成を目指す。

○少子化対策・子育て支援

問 県は「とちぎ子ども・子育て支援プラン(2期計画)」を策定し、総合的な対策に取り組んでいるが、合計特殊出生率は目標を下回っており、成果が出ていないと言えない。次期プランの策定に当たっては、課題をしっかりと洗い出し、子育て費用の支援等、多様な子育て世代のニーズに応え、寄り添う政策を多面的・複合的に推進していくことが必要と考えるがどうか。

答【知事】新たな出会いの場の創出による結婚支援や、子ども医療費助成制度の拡充など、子育て支援の充実を図る。また、次期プランの策定に当たり、これまでの成果や課題を検証・分析して、当事者の意見を取り入れながら、全庁を挙げて施策の総動員を図っていく。

このほか 矢板市の成長力向上のための産業団地の整備、林業・木材産業の成長産業化など

注()は所属会派 / (とちぎ自民党)とちぎ自民党議員会、(民主市民)民主市民クラブ、(公明党)公明党栃木県議会議員会、(県民)県民クラブ、(えがお)えがおの会 / 会派名は質問日時点 / []は選挙区

質疑・質問日 令和5年2月22日、27日、28日

※スマートフォン等で二次元コードを読み取ると、質問の映像をご覧いただけます。



一般質問 (2/27)

ひらいけ ひろし
平池 紘士

(とちぎ自民党)
【栃木市】



○ドローンをはじめとしたデジタル技術を活用した地域課題の解決

問 ドローンのより多くの施策への積極的な活用について、市町や民間事業者とも連携した上で部局横断的な体制で取り組むなど、各種デジタル技術の活用による地域課題の解決をオール栃木体制で進めていくべきと考えるがどうか。

答 【知事】 ドローンについては、労働力不足の解消や生産性の向上等に有効であることから、社会実装に向けた積極的な技術の実証等が必要と考えている。国の動向等も的確に捉え、実証実験等の取組を加速化するなど、部局横断的なマネジメントのもと、ドローンをはじめとしたデジタル技術

の活用による地域課題の解決に取り組んでいく。

○みかも自然の家

問 みかも自然の家が周辺地域の活性化に果たす役割は大きく、利用者の満足度の向上や観光周遊などにつなげていくためにも、周辺施設との連携が非常に重要であり、供用開始まで残り約1年となる中、PFI事業者とも密に連携を図りながら、しっかりと準備を進めていく必要があると考えるがどうか。

答 【教育長】 渡良瀬遊水地でのフィールドワークなど、事業者から提案のあった周辺施設を活用した取組が着実に進むよう、緊密な連携を図り、来年4月のオープンに向け、民間のノウハウや創意工夫を最大限に生かし、魅力ある施設となるよう取り組んでいく。

このほか 森の番人の確保・育成、プログラミング教育の推進など



一般質問 (2/28)

たかやま かずのり
高山 和典

(とちぎ自民党)
【下野市】



○ケアラー支援

問 高齢や障害、疾病等により援助を必要とする方に対し、無償でケアを提供するケアラーの支援は極めて重要な課題であり、今通常会議において議員提案により、栃木県ケアラー支援条例案が提出されている。県が部局や分野を横断したリーダーシップをとる必要があるが、今後、どのようにケアラー支援を推進する体制を整備し、施策展開していくか。

答 【知事】 条例の理念や内容を広く県民に周知することにより、ケアラー支援に向けた気運の醸成を図っていく。また、ケアラーの実態調査を行うとともに、栃木県ケアラー支援推進協議会(仮称)において、様々な分野の有識

者等から意見を伺いながら、必要な施策を整理し、基本計画を策定していく。

○かんぴょうの生産振興

問 本県を代表する特産品であるかんぴょうの生産を守り続けていくためには、生産者や農業団体、流通業者をはじめ、行政機関も一体となって、生産を盛り上げていくことが必要と考えており、生産振興にどのように取り組んでいくのか。

答 【農政部長】 栽培と加工作業の分業化を進めるとともに、収穫作業時に装着するアシストスーツの現地体験会を開催するほか、小山工業高等専門学校や生産者とともに、かんぴょうむき専用機械の改良に取り組んでいく。また、輸入品との違いを積極的に発信するなど、県内はもとより、全国に誇れる食材としてPRしていく。

このほか 消防団を中核とした地域防災力の充実・強化、スタートアップ企業の支援など



一般質問 (2/28)

まつい しょういち
松井 正一

(民主市民)
【鹿沼市】



○令和元年東日本台風災害を教訓とした河川の防災・減災対策の今後

問 防災・減災対策は目標を明確にし、整備効果を公表する等、着実な対策としなければならないと考える。気候変動に伴う水災害の頻発・激甚化を踏まえ、河川の防災・減災対策について、どのように対応していくのか。

答 【知事】 計画的な河川整備のほか、治水効果が高く、緊急対策が必要な約600箇所をこれまでに定め、堤防強化を実施するとともに、洪水のたびに変化する土砂の堆積状況や、地域の要望等も踏まえ、堆積土除去を順次進める。整備効果については、市町と情報を共有するとともに、ホームページやSNS等を活用し、情報発信を行う。

○本県の特別支援教育の今後～本県特別支援教育の在り方～

問 特別支援教育の様々な課題に対応するには、特別支援教育や特別支援学校の環境整備の在り方を検討すべきである。特別支援学校の教育環境の充実、再編、整備計画の策定を行うための有識者による検討の場を早急に設置し、検討を進めるべきと考えるが、見解を伺う。

答 【教育長】 児童生徒等の自立と社会参加を目指し在籍者数の推移とともに、学校を取り巻く環境や社会状況等の変化を踏まえ、検討を進めることが重要である。新年度、特別支援教育室を課に改め、インクルーシブ教育推進担当を新設するなど体制を強化するところであり、有識者等からの専門的な意見も伺いながら、幅広い視点で検討を進めていく。

このほか 本県林業・木材産業の今後、とちぎの星の安定生産とブランド化の今後など



一般質問 (2/28)

そうとめ ゆきひこ
五月女 裕久彦

(とちぎ自民党)
【宇都宮市・上三川町】



○人口減少対策

問 人口減少対策の都道府県間競争を勝ち抜くためには、本県に魅力と愛着を感じ、住みたい、住み続けたいと思ってもらえるような、一歩踏み込んだ本県ならではの取組を展開していく必要があるが、どのように取り組むのか。

答 【知事】 東京圏在住の女性に向けた移住情報の発信を強化するとともに、新たな事業戦略を策定し、個性や能力を発揮できる雇用や産業の創出につなげていく。また、県誕生150年記念事業やG7担当大臣会合の好機をとらえ、本県の魅力・実力を県内外に発信していく。さらに、新たに配置する「企業間結婚支援婚シェルジュ」を活用し、社会全体で結婚を応援でき

る体制づくりを進める。

○とちぎグリーン農業の実現に向けて

問 県は、「とちぎグリーン農業」の推進を図ることとし、関係機関や生産、流通・消費団体の代表者等で構成する県の協議会において、推進方針の策定を進めているが、今後どのように取り組むのか。

答 【農政部長】 耕畜連携による堆肥の利用を促進するとともに、有機農業のモデル産地づくりを支援するほか、水田におけるメタンガスの発生抑制や炭素貯留の取組を推進していく。また、環境に配慮した農産物に新たな価値を付加する取組を進めるとともに、消費者の理解を促進していく。さらには、全市町に地域協議会を設置し、環境負荷低減と収益性の向上を両立できる農業を着実に展開していく。

このほか EVの普及に向けた充電インフラの整備促進、収益性の高い水田農業の確立に向けてなど

議事堂1階 展示コーナーでクイズをしよう!

Q1 県議会が始まったのはいつからでしょう
a 明治時代 b 大正時代 c 昭和になってから

Q2 議会の仕事でないものは、次のうちどれでしょう
a 県の決まりや予算の決定 b 県の仕事の内容を調べる
c 道路などをつくる

答えは4面をご覧ください。



議事堂1階展示コーナーでは、このほかにも県議会に関する様々なクイズが楽しめます。

展示コーナーは、平日の8:30~17:15まで自由に見学できます。ぜひお越しください。

また、県議会議事堂を含む県庁舎の団体見学も受け付けています。団体見学について詳しくは、**広報課県民プラザ室(028-623-3766)**までお問合せください。



▲ 展示コーナー見学の様子 (那須塩原市立高林小学校5年生の見学)

県議会ハイライトの放送

とちぎテレビでは、今回の質疑・質問の様子など、県議会活動の内容をダイジェストで紹介する栃木県議会広報番組「県議会ハイライト」を放送しています。



【次回の放送予定】
5月7日(日)
17時30分~18時00分

※テレビ放送後2週間程度で、議会中継サイトでもご覧いただけます。

県議会公式 YouTube チャンネル

県議会【公式】 YouTubeチャンネル
@tochigikengikaiでは、過去に放送された「県議会ハイライト」をはじめ、栃木県議会に関する動画を閲覧することができます。ぜひ、ご覧ください。チャンネル登録も、よろしく願います。



県議会公式 YouTube チャンネル 二次元コード

常任委員会の主な活動

6つの委員会が設置され、それぞれ所管する部局等に属する議案・請願等の審査や事務の調査等を行っています。

第391回通常会議において所管常任委員会に付託された議案について、3月2日と15日に審査及び採決が行われました。また、予算特別委員会に付託された令和5年度予算関係議案は、所管常任委員会に調査依頼され、3月2日と10日に調査が行われました。

県政経営委員会

調査依頼議案3件の調査、付託議案4件の審査を行いました。
また、特定指導法人の自律的運営に向けた基本方針(案)の策定について報告を受け、質疑を行いました。

生活保健福祉委員会

調査依頼議案5件の調査、付託議案13件、陳情1件の審査を行いました。
また、栃木県子ども総合科学館大規模改修の概要などについて報告を受け、質疑を行いました。

農林環境委員会

調査依頼議案5件の調査、付託議案5件の審査を行いました。
また、栃木県EV・PHV充電インフラビジョン(案)、とちぎグリーン農業推進方針(案)などについて報告を受け、質疑を行いました。

経済企業委員会

調査依頼議案7件の調査、付託議案7件の審査を行いました。
また、ロードマップに掲げる重点プロジェクトのアクションプラン(案)について報告を受け、質疑を行いました。

県土整備委員会

調査依頼議案2件の調査、付託議案11件の審査を行いました。
また、とちぎインフラDX構想の概要などについて報告を受け、質疑を行いました。

文教警察委員会

調査依頼議案6件の調査、付託議案7件の審査を行いました。
また、栃木県立高等学校入学者選抜制度の在り方などについて報告を受け、質疑を行いました。

予算特別委員会

第391回通常会議において予算特別委員会に付託された議案について、3月9日に総括質疑を行いました。

- 審査議案
令和5年度当初予算関連議案 23件
- 質疑者 10名
とちぎ自民党議員会 4名
民主市民クラブ 2名
公明党栃木県議会議員会 1名
県民クラブ 1名
新鹿会 1名
栃木の会 1名



▲総括質疑の様子(3月9日)

3月10日に所管常任委員会において調査及び適否確認が行われた後、予算特別委員会で審査と採決を行い、すべて原案のとおり可決されました。なお、総括質疑の様子は二次元コードからご覧いただけます。



臨時会議(第392回)

第392回臨時会議が3月27日に開催されました。地方交付税の確定等に伴い、歳入歳出予算の整理を行うとともに、県有施設整備基金の涵養を図るために編成した令和4年度栃木県一般会計補正予算(第11号)など2議案が上程され、所管常任委員会の審査を経て、原案のとおり可決されました。



▲第392回臨時会議の様子(3月27日)

県議会トピックス

●福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会

2月2日及び3日に、福島・茨城・栃木・群馬・新潟五県議会議長会が茨城県水戸市において開催され、山形修治議長が出席しました。

各県がコロナ禍における物価高騰対策の取組を紹介し、情報交換を行ったほか、現地視察を実施しました。



▲本県の取組を紹介する山形修治議長



▲現地視察の様子

●選抜高等学校野球大会出場報告

2月27日に第95回記念選抜高等学校野球大会に出場する作新学院高等学校(宇都宮市)と石橋高等学校(下野市)の校長、監督、選手による出場報告会が、県公館(宇都宮市)で行われました。

山形議長ほか6名の議員が参加し、議長が激励金を贈呈しました。



▲左側から順に石橋高等学校の選手等、福田富一知事、山形修治議長、作新学院高等学校の選手等

県議会広報特別番組

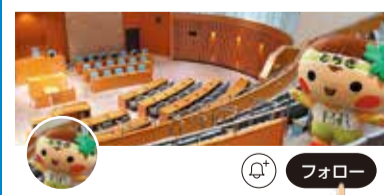
4月9日に県議会議員選挙が行われ、新たな顔ぶれが決定しました。当選議員50名に、県政への取組や今後の抱負などについてインタビューした特別番組を放送します。ぜひご視聴ください。

放送局	とちぎテレビ (テレビ)	60 Anniversary 「聴きたい」を未来へ 栃木放送 (AMラジオ)	RAD/F0 BERRY 76.4FM (FMラジオ)
放送日時等	5月23日(火) ～6月6日(火) 午後8時～ 30分番組[各回5名] (再放送)翌日 午前11時30分～	5月23日(火) ～6月5日(月) 午後0時30分～ 30分番組[各回5名]	5月23日(火) ～7月31日(月) 午前10時55分～ 午後9時55分～ 5分番組[各回1名]

※いずれも土曜・日曜を除く。放送予定の詳細は県議会HPでご確認ください。

栃木県議会【公式】 Twitter

@tochigikengikai



フォローをお願いします

県議会の日程や
質疑質問の中継
案内など
県議会の情報を
タイムリーに
お届けします



次回の会議等

第393回招集会議
5月18日(木)午前10時開始予定
※県議会議員選挙(一般選挙)後
最初に開く会議です。

県議会とちぎNo.150の発行
第393回招集会議の様子や
新議員を紹介する特別号を
6月4日(日)に発行します。



～3面のクイズの答え～

- Q1【答え】 a 明治時代
- 明治12年に最初の県議会が開催されました
- Q2【答え】 c 道路などをつくる
- 実際の事業は知事などが行います